NEWS RELEASE

令和2年1月16日資料配布

国土交通省神戸運輸監理部
海上安全環境部

気をつけて すぐに曲がれぬ 大型船

イカナゴ新子漁解禁前に、小型漁船の漁師へ安全運航を啓発する安全運航講習会を開催

神戸運輸監理部では、輻輳海域における漁船の安全操業と海難防止を図るため、独立行政法人 海技教育機構 海技大学校と連携し、大型タンカーなどが行き交う海域で操業する漁師を対象に、安全運航講習会を開催します。

例年2月末から大阪湾・播磨灘でイカナゴ新子漁が始まりますが、主な漁場である明石海峡は、大型のコンテナ船やタンカーと、イカナゴ(シラス)漁等の小型漁船が多数行き交い、漁の最盛期には漁船群が航路を埋め尽くし、衝突等の海難事故が多い海域です。

本講習では、操船シミュレータ体験(コンピュータ映像の疑似体験)で、大型船特有のタイムラグのある舵の効き方や減速に時間がかかることなどの理解を深めてもらうほか、小型漁船の海難講習及び救急救命講習(CPR及びAEDの操作等)を実施し、今後の安全操業と海難防止に役立ててもらいます。

＜開催概要＞

主催　神戸運輸監理部
　　独立行政法人 海技教育機構 海技大学校
日時　令和2年1月21日(火)13:30～16:30
場所　海技大学校(芦屋市西蔵町 12－24)
対象　明石海峡付近で操業している漁師、漁協関係者 約20名
講習　①講習(小型漁船の海難)
　　[講師] 海技大学校航海科名誉教授 岩瀬 潔 氏
　　②操船シミュレータ体験
　　[講師] 海技大学校航海科名誉教授 岩瀬 潔 氏
　　同校航海科准教授 久保野 雅敬 氏
　　③救急救命講習(CPR 及び AED の操作等)
　　[講師] 海技大学校航海科助教 濵田 聡樹 氏

操船シミュレータ体験のようす

CPR(cardio pulmonary resuscitation)
呼吸が止まり、心臓も動いていないとみられる人の救命へのチャンスを維持するために行う循環の補助方法。心臓マッサージを主に行い、熟練者は人工呼吸も行います。

明石海峡でのイカナゴ新子漁のようす

当日の取材をよろしくお願いします(見学だけも可)。会場の都合上、1月20日(月)12時までに下記問い合わせ先までご連絡ください。講習会当日は、海技大学校正面玄関へ13時20分までにお集まりください。

配布先
神戸海運記者クラブ 芦屋市政記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部　海上安全環境部 調整官　担当:戸井 電話 078－321－7051(戸井) C to Sea プロジェクト 海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。ポータルサイト「海ココ」 →